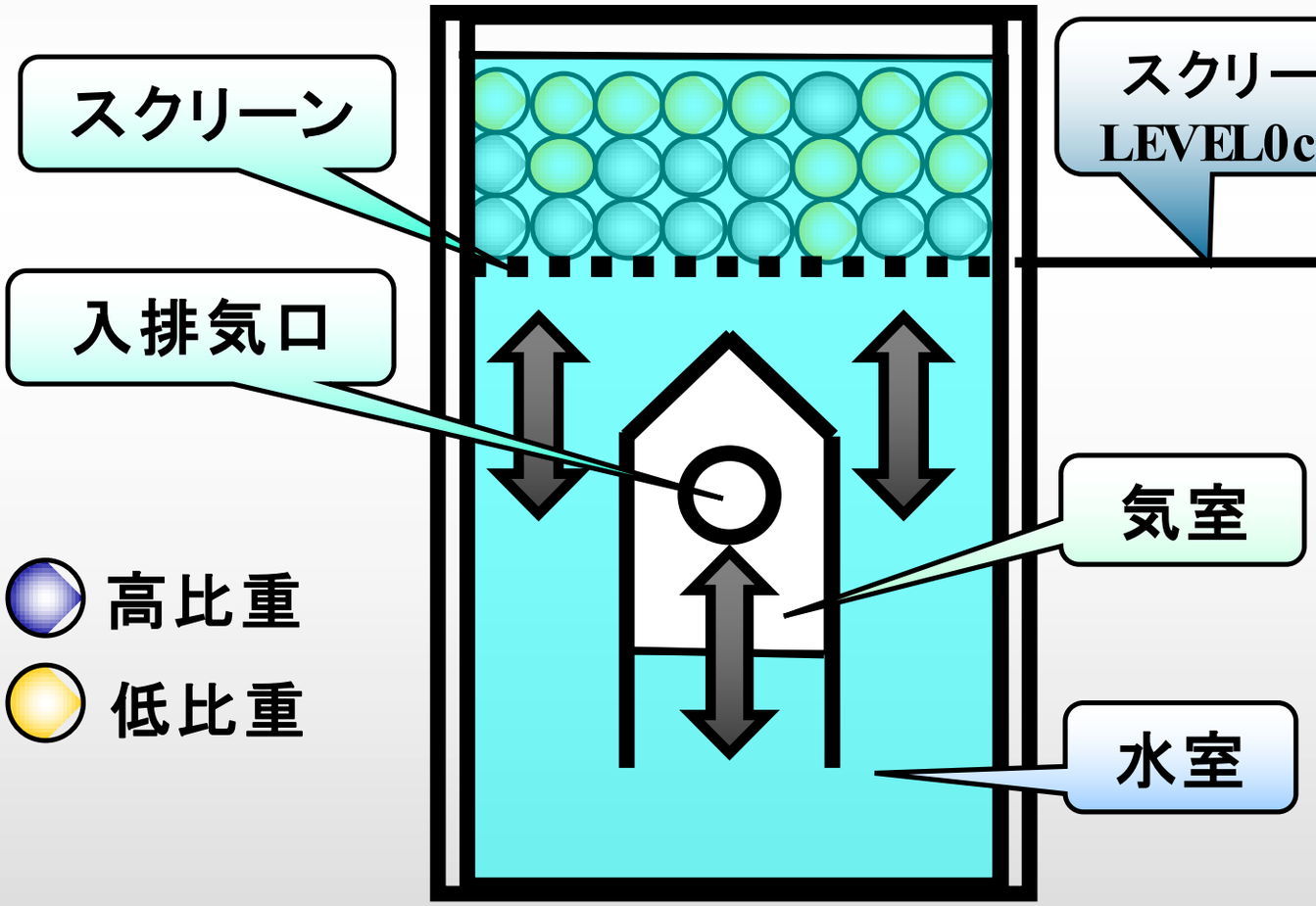
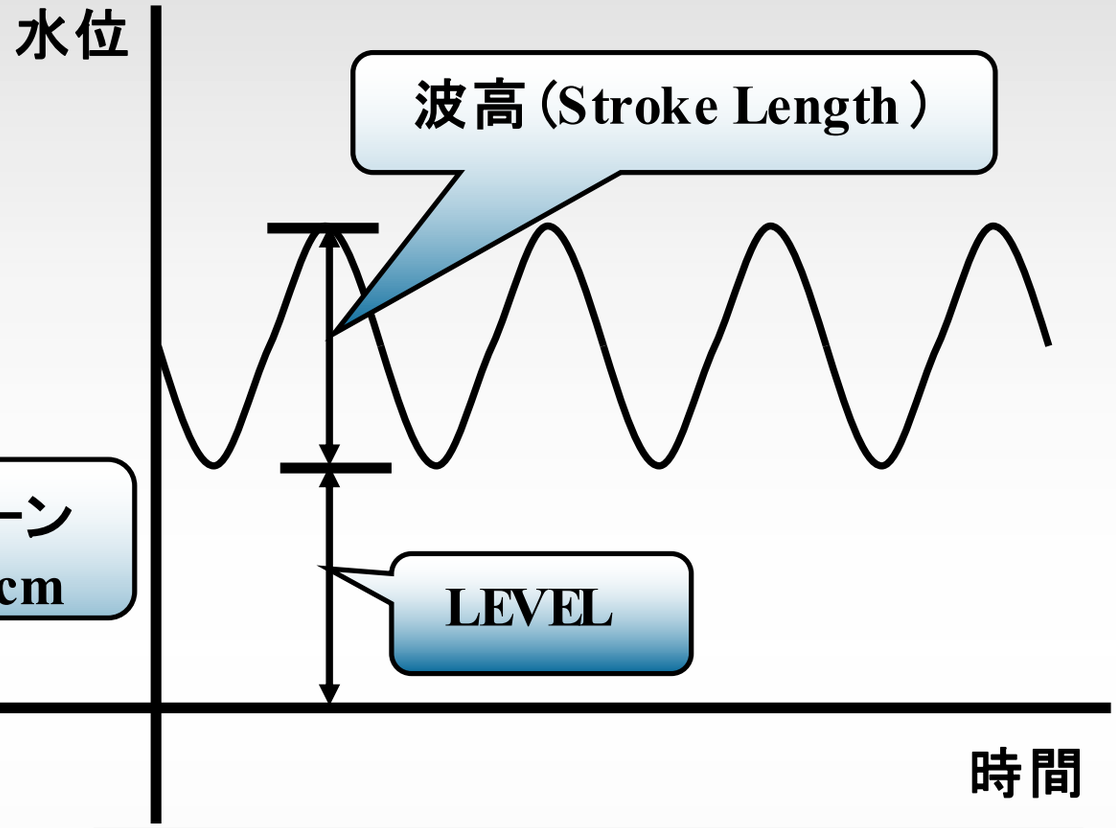
ジグ選別機（TACUBジグ）の概要

入排気口から空気を入れる事で、気室部分の体積が広がり水室内の水が上に押し上げられ、空気を排出する事で、元に戻り繰り返し行うことで波（波高）が生まれます。



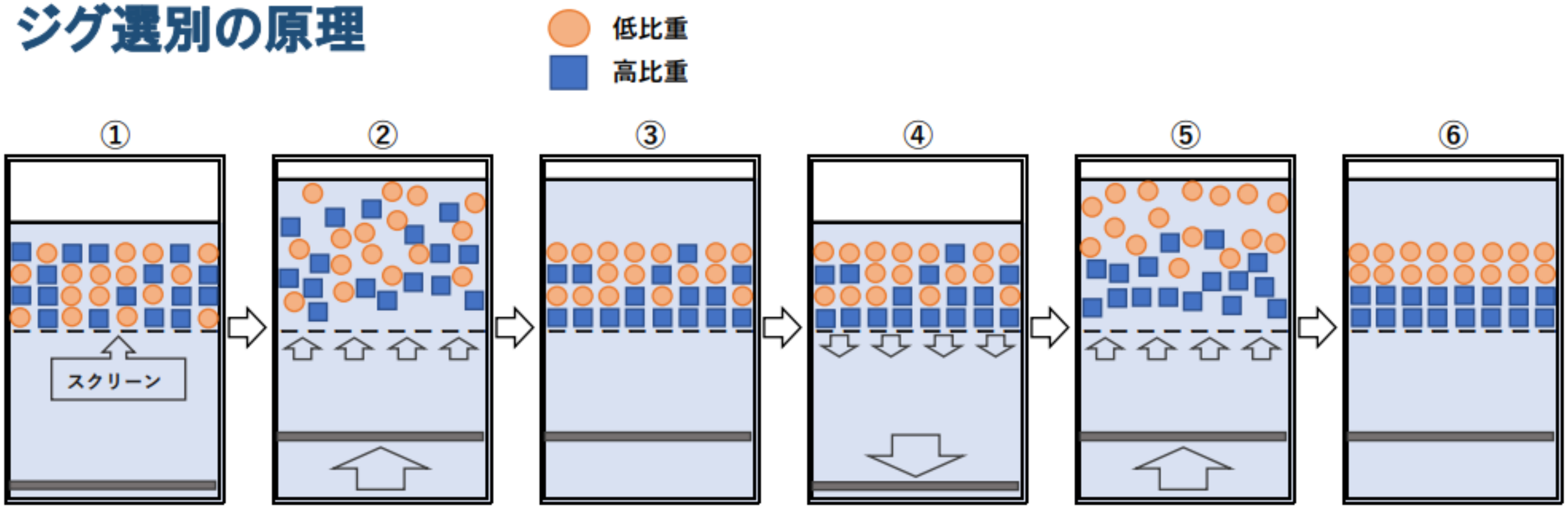


サイクル数（Frequency）
1分間に脈動する回数

波高（Stroke Length）
水面の脈動の幅

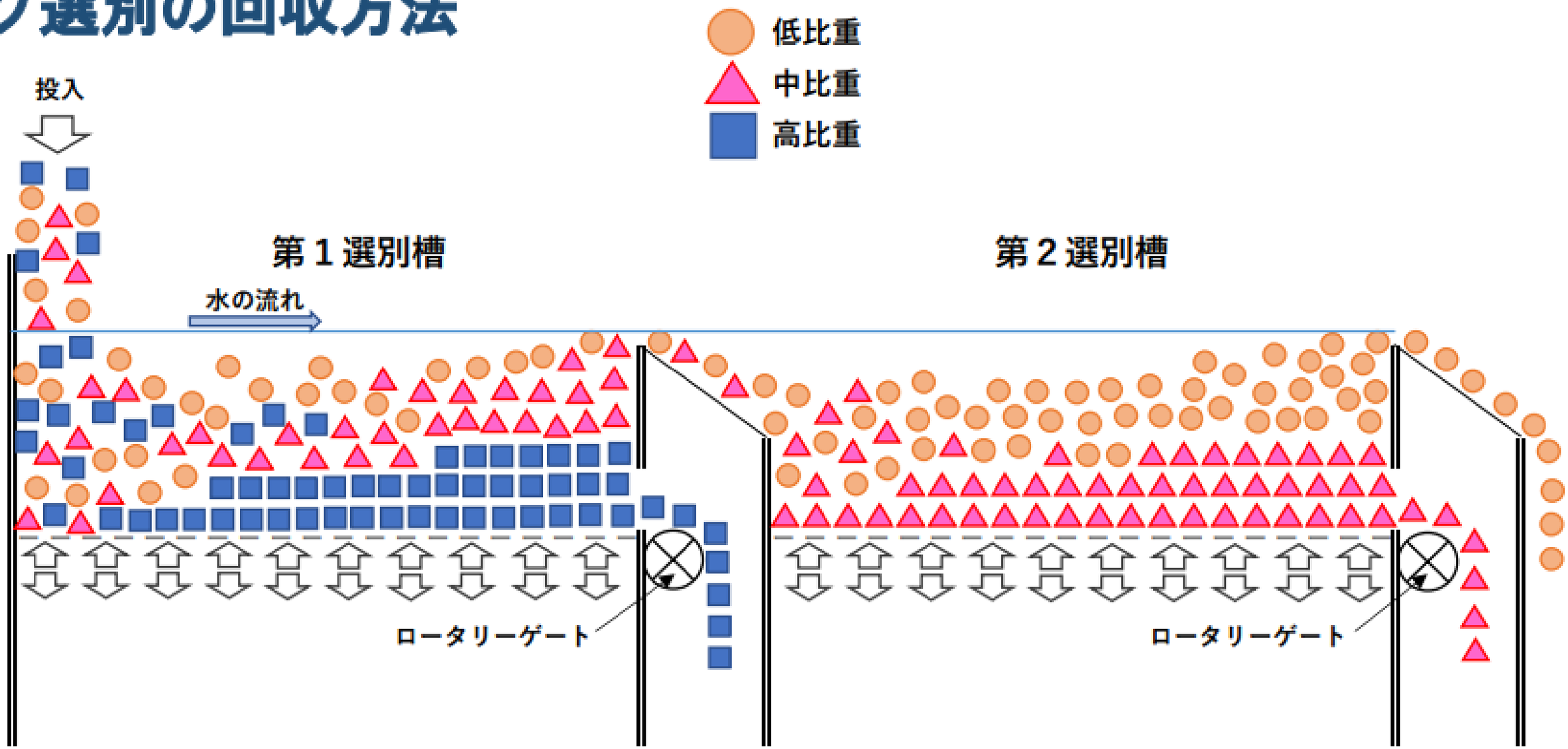
LEVEL ：水面の脈動の下限の高さ

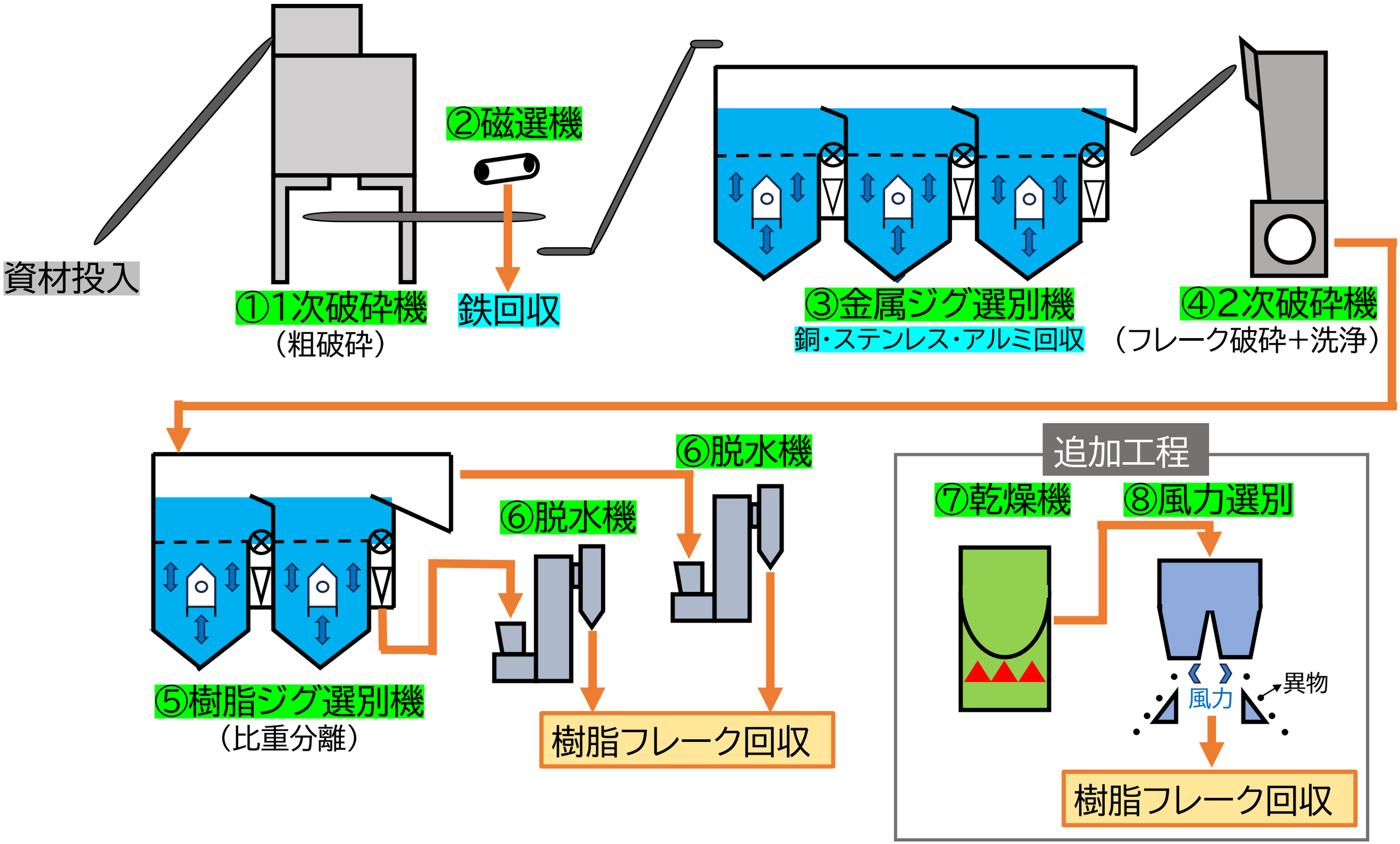
ジグ選別の原理



①底面がスクリーンの水槽に水と選別する原料を入れます。
　原料の大きさは同じですが、比重に差があります。
②スクリーンの下から水を勢いよく押し上げると、原料も一緒に押し上げられます。
③この状態で放置すると高比重の原料は素早く落下し、低比重の原料はゆっくり
　落下します。
④⑤水面を下げ、また勢いよく水と選別する原料を押し上げます。
⑥繰り返し行うことで、最後は底面に高比重の原料、上部に低比重の原料が成層さ
　れます。

ジグ選別の回収方法



・混合状態の原料を水槽に投入します。
・原料は流されながら比重ごとに成層されます。
・第１選別槽では、成層された高比重の原料をロータリーゲートで回収し、低比重と中比重はオーバーフローさせます。
・第２選別槽では、成層された中比重の原料を回収し、低比重はオーバーフローさせ回収をします。
・どちらの選別槽も原料の層が厚くなれば回収し、層が薄くなれば回収を止め層が厚くなるのを待ち回収を行うことで、他の原料が混ざらないようになっています。

マテリアルリサイクル　プラント工程 フロー図